

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 (内地補償費)	億円
		通常砂防事業 さいみょうじ 最明寺川	宝塚市 ひらい 平井		約 4.0 (約 50百万円)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
宝塚市 平井				H14年度	H19年度
事業目的			事業内容		
都市山麓の土砂災害対策 ・最明寺川周辺の有馬層群に代表される脆弱な山腹には古い崩壊跡や浮き石などが点在し、山腹の強化を行うことで山裾に迫っている人家、人命を保全し、緑豊かな斜面空間を保全する。			・山腹工 A = 55,000 (法枠工等 1式) (谷止工 1式) (擁壁工 1式)		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> ・最明寺川流域は、山腹砂防指定地である。 ・山腹斜面には古い崩壊跡が点在し、下端部には浮き石が多くあり、山腹の荒廃は進んでいる。 ・山腹は急峻な地形で、脆弱な地質(第三紀層神戸有馬層)である。 ・保全対象 : 人家 = 174戸、公共施設 = 市道 			
地域の活性化					
快適性・ゆとり					
その他					
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・人家 174戸と非常に多く、地区内を走る市道が被害を受けると迂回路がなく、事業実施による投資効果は大きい。 ・地区内の市道から最明寺を経るルートは市のハイキングコースの一つに位置付けられており、ハイカーの利用が多い。 			
効率性					
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、山腹に現存する樹木を活かしながら整備を進め環境保全に努める。 ・間伐材の利用など環境負荷の低減に努める。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害の想定被害区域には人家 174戸とハイキングコースにもなっている市道(迂回路なし)がある。 ・山腹斜面には崩壊跡や浮き石が点在し、土砂流出の危険性が高く、平井地区の人命・財産の保全のために早急な対策が必要である。 			